

東日本大震災にかかる復旧への取り組み

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から3カ月半以上が経ちました。これまでに経験したことのない甚大な被害に対し、習志野市は、地震発生直後に災害対策本部を設置し、避難所の開設、給水車の出動、下水道の復旧等、職員一丸となってライフラインの確保に努めてまいりました。被災された皆様方には大変長い間ご不便をおかけいたしましたでしたが、ようやく復旧することができ、7月1日からほぼ通常の生活をお過ごしいただけるようになったところです。

これからは公共施設の復旧と被災された市民の皆様の生活安定対策が重要となってまいります。5月6日に災害対策本部の中に災害復旧部を設置、災害復旧部には、「公共施設等復旧班」と「市民生活安定対策班」の2班を設けました。公共施設等復旧班においては、破損した道路、下水道はじめ、各公共施設の復旧に取り組んでいます。また、市民生活安定対策班においては、被災者相談窓口を設置して被災者の生活再建支援や義援金の申請受付などを行っています。

今後、市民と行政の協働により、液状化した地域の復旧・復興を進めるため「習志野市被害住宅地公民協働型復興検討会議」を7月中に設置します。この会議は、学識経験者、市民代表、行政などをメンバーとして、液状化現象の発生原因、今後の地震発生時における被害の予測、土木、建築等工学的観点からの都市基盤施設と個人住宅地等の再建設手法や震災対策案等を検討します。

市としては、一日も早く市民の皆様が安全で安心した暮らしを送ることができるよう全力で取り組んでまいります。



液状化により次々と傾いた電柱

■東北地方太平洋沖地震について

- ・発生日時 平成 23 年 3 月 11 日（金）午後 2 時 46 分
- ・震源地：三陸沖 マグニチュード：9.0 習志野市内の震度：震度 5 強

■震災当日の状況

- ・習志野市災害対策本部の設置（午後 2 時 55 分）
- ・道路、下水道の調査。市内 46 カ所の避難場所における避難者確認調査。
- ・公共交通機関の停止による帰宅困難者や市民に対し、直ちに避難所を開設。
毛布、ストーブ、水等を搬入。（避難所数：12 カ所 避難者数：2,953 人）
- ・道路の陥没、隆起に対する応急対策。
- ・保育所の帰宅困難児童に対する保育対応。
（対応保育所数：14 カ所、こども園：1 カ所、避難児童数：191 人）
- ・放課後児童会の帰宅困難児童に対する保育対応。
（対応児童会数：5 カ所、避難児童数：8 人）



路面が隆起し、塀は倒壊（香澄）

■習志野市の被害状況等

（１）人的・物的被害（7 月 1 日現在）

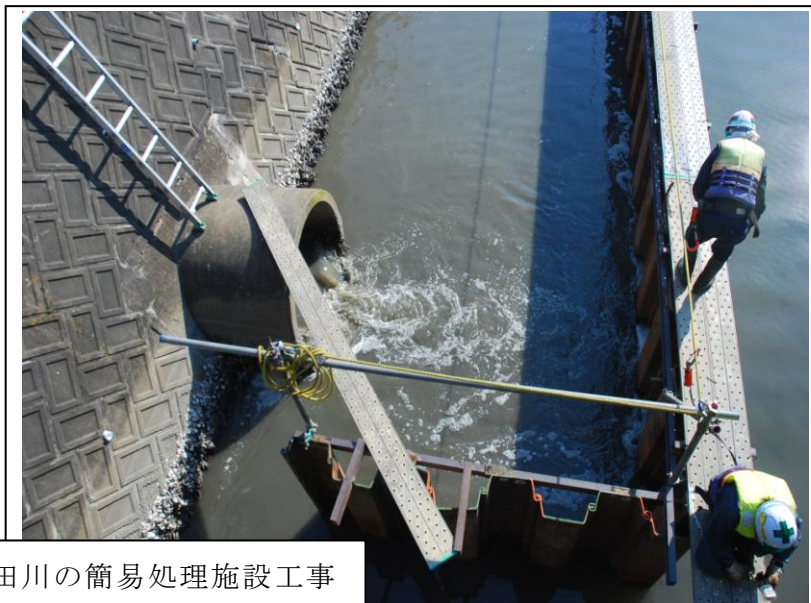
区 分		人 数	備 考
人的被害	死亡者	1 名	
	負傷者	6 名	
区 分		件 数	
家屋被害 （被害調査件数） 合計：4,297 件	全壊	9 件	
	大規模半壊	160 件	
	半壊	472 件	
	一部損壊	3,656 件	
物的被害	火災	1 件	

(2) ライフライン、インフラの状況

区 分	3 月 22 日の状況	7 月 1 日の状況
電 気	すべて復旧	すべて復旧
ガ ス	すべて復旧	すべて復旧
上水道	香澄地区の一部で断水	すべて復旧
下水道	<ul style="list-style-type: none"> ・排水不良区域約 500ha（国道 14 号以南の香澄・秋津・袖ヶ浦・谷津地区） ※うち下水道管が土砂で埋まって使えない区域 約 50ha（約 1,500 戸） ・マンホールから溢水が生じたため、緊急的に菊田川へ放流。今後、簡易処理施設を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・排水不良区域約 500ha の解消 ・下水道管が使えない区域における汚水管の清掃や管内カメラ調査を実施 (管内清掃約 25 km実施済) (カメラ調査実約 20 km実施済) ・7 月 1 日に使用制限を解除(汚水幹線等の仮復旧が完了。簡易処理施設での処理終了)
道 路	<p>通行支障</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂堆積 (国道 14 号以南の地域) ・隆起、陥没 172 路線 車両通行止め 6 カ所 ・袖ヶ浦 3 カ所 ・香澄、津田沼、谷津 各 1 カ所 	<p>通行支障</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂堆積→解消済 ・隆起、陥没 2 路線 車両通行止め 2 カ所 ・袖ヶ浦 1 カ所→ 平成 24 年 3 月中旬解消予定 ・香澄 1 カ所→ 10 月末開放予定



下水道マンホール破損（香澄 5 丁目）



菊田川の簡易処理施設工事



アスファルトも破損（香澄）



液状化で隆起した地面（秋津）

(3) 市内幼稚園・小・中学校、公共施設の状況

区分	7 月 1 日の状況
幼稚園	すべて開園（屋敷幼稚園は、園舎に一部修理の必要があるため、屋敷小学校で運営）※改修工事終了後、9 月（夏休み明け）から開園予定
小学校	すべて開校（大久保小学校体育館は、当初使用中止としたが、天井材落下防止策を実施し、4 月 25 日から使用可とした。） ※プールが使用できない学校：袖ヶ浦西小学校、袖ヶ浦東小学校
中学校	すべて開校（第二中学校体育館は、当初使用中止としたが、天井材落下防止策を実施し、4 月 25 日から使用可とした。） ※プールが使用できない学校：第三中学校
公民館	すべて開館（袖ヶ浦・新習志野公民館の調理室については 6 月利用再開）
図書館	すべて開館 （当初夜間開館は見合わせていたが、4 月 21 日から再開）
文化施設	<ul style="list-style-type: none"> ・習志野文化ホール…5 月 12 日から開館 ・旧鵜田家住宅…閉館中（復旧工事に向けて作業中） ・旧大沢家住宅…4 月 12 日から開館
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> ・東部体育館アリーナ…天井材復旧工事着工後、柱上部に新たな亀裂が判明。現在、建物の躯体の安全性を含め、再度精密調査中。8 月中の利用再開は困難な状況 ・秋津テニスコート…一部（A・B・C コート）は現在整備中。7 月 20 日利用再開 ・秋津サッカー場…芝張り替え作業中。7 月 21 日利用再開 ・秋津野球場…復旧工事終了。7 月 1 日利用再開
勤労会館	・すべて開館（ただし節電対応とし、テニスコートの照明使用不可）
公園等	<ul style="list-style-type: none"> ・谷津バラ園、谷津干潟自然観察センター…4 月 12 日から開園 ・香澄公園…一部使用不可（平成 24 年 4 月全面開放予定） ・海浜公園…平成 23 年 6 月末全面開放（ただし、一部危険につき立入禁止）
海浜霊園	<p>液状化現象に伴う甚大な被害のため、復旧までには相当期間がかかる見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園路・参道…土砂の堆積、陥没、ひび割れ（応急対応済） ・水道・トイレ等…応急対応済 ・園内駐車場・管理棟和室…使用不可 ・墓地区画…土砂の堆積、一部灯ろうの倒壊、外柵石等の傾斜

■災害対応ボランティアセンター活動状況について

(習志野市社会福祉協議会対応)

- ・開設期間：3 月 13 日（日）～27 日（日）（午前 9 時から午後 4 時まで）
- ・ボランティア登録者数：延べ 567 人
- ・主な活動内容：断水に伴う水の供給、液状化による宅内・U字溝等の土砂撤去
室内 の片づけ等

■消防による応急給水について

- ・耐震性防災井戸を使用した給水活動
3 月 12 日（土）～15 日（火）
南消防署脇（秋津）・谷津小学校
消防団 179 人、消防協力隊 44 人
(計 223 人)



応急給水(南消防署)

■企業局市営水道による応急給水について

- (1) 応急給水用タンクの出動
3 月 18 日（金）～20 日（日） 袖ヶ浦団地にタンク 2 台出動
- (2) 応急給水の実施
3 月 25 日（金）～ 企業局駐車場で実施

■市営水道水の放射線物質の測定について

- ・企業局で採取した水道水の放射性物質測定結果を 3 月 23 日以降、週 1 回公表。

■救援物資の送付について

(千葉県及び習志野青年会議所を通して被災地へ送付)

- ・受付期間：3 月 25 日（金）～27 日（日）
(午前 9 時から午後 4 時まで)
- ・受付場所：市役所前体育館
- ・受付件数：420 件
- ・送付物資：歯ブラシ、歯磨き粉、
大人用紙おむつ、ごみ袋等
(段ボール箱 226 個分)



ボランティアによる救援物資受付

■被災地への派遣について

(1) 緊急消防援助隊

①派遣先：岩手県陸前高田市

第 1 次派遣隊 3 月 14 日（月）～18 日（金）救助隊 5 名、後方支援隊 3 名

第 2 次派遣隊 3 月 17 日（木）～21 日（月）救助隊 5 名、後方支援隊 3 名

第 3 次派遣隊 3 月 20 日（日）～22 日（火）救助隊 5 名、後方支援隊 3 名

②派遣先：福島県福島市

第 4 次派遣隊 3 月 28 日（月）～4 月 1 日（金）救急隊 3 名、後方支援隊 3 名

第 5 次派遣隊 4 月 1 日（金）～ 5 日（火）救急隊 3 名、後方支援隊 4 名

※第 5 次後方支援隊 4 名のうち 1 名は隊員搬送要員

第 6 次派遣隊 6 月 4 日（土）～ 6 日（月）救急隊 3 名、後方支援隊 3 名

(2) 習志野市医師会「災害医療チーム」（派遣先：宮城県南三陸町）

第 1 回 3 月 25 日（金）～28 日（月）医師 7 名、看護師 2 名、義肢装具士 1 名

第 2 回 4 月 3 日（日）～ 6 日（水）医師 2 名、薬剤師 1 名、看護師 2 名

第 3 回 4 月 8 日（金）～11 日（月）医師 2 名、看護師 3 名

(3) 被災地支援「手話通訳者派遣」（派遣先：宮城県仙台市）

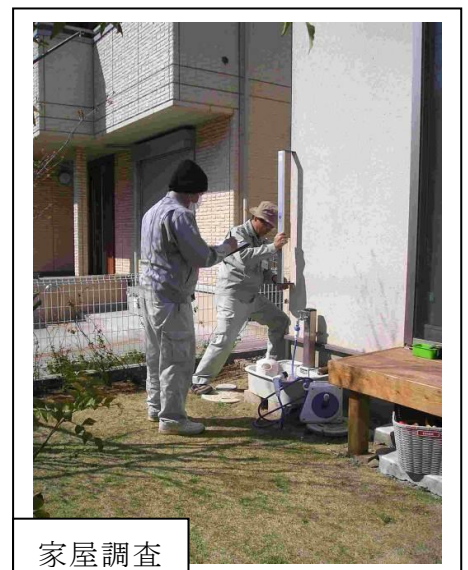
6 月 19 日（土）～24 日（金）手話通訳者 1 名

■埋め立て地区住家被害認定全棟調査の実施について

- ・調査期間：4 月 11 日（月）～5 月 10 日（火）（完了）
- ・調査対象：国道 14 号以南液状化地区
3,831 戸

■住家の被害認定に係る 2 次調査の実施について

- ・2 次調査申請受付期間：
平成 23 年 5 月 23 日（月）～平成 23 年 12 月 28 日（水）
- ・2 次調査申請受付場所：
習志野市役所 第 3 分室 2 階
「被災者総合相談案内窓口」内 （郵送可）
※1 受付時間は、午前 9 時から午後 5 時
- ・2 次調査開始日：平成 23 年 5 月 30 日（月）～
- ・2 次調査申請件数：312 件（6 月 30 日現在）
- ・2 次調査実施件数：201 件（6 月 30 日現在）



■ り災証明書及び被災証明書の受付及び発行状況

- ・ り災証明書：災害を受けた住家の「り災程度（全壊、半壊など）」を証明するもの
- ・ 被災証明書：災害を受けた家屋の他、土地、塀・門扉、瓦などの付帯物、
備品、家具などに被害のあったことを証明するもの。
- ・ 申請受付時間：平日 午前 8 時 30 分から午後 5 時まで
- ・ 申請受付場所：市役所第三分室 1 階 税制課
- ・ 申請に必要なもの：印鑑・身分が確認できるもの・被害状況が確認できる写真
- ・ り災証明書発行に伴う国の被害認定基準

【傾斜による判定】

外壁又は柱の傾斜	被害の程度
6 c m 以上	全壊
2 c m 以上 6 c m 未満	大規模半壊 (新基準)
1.2 c m 以上 2 c m 未満	半壊 (新基準)

【液状化被害判定の追加】

潜り込み量	被害の程度
床上 1 m まで	全壊
床まで	大規模半壊 (新基準)
基礎の天端下 2 5 c m まで	半壊

※外壁又は柱の傾斜は、120cm の垂直高さに対する水平方向のずれで表しています。

- ・ り災証明書受付状況：2,133 件(7 月 1 日現在)
- ・ り災証明書発行件数：1,971 件(7 月 1 日現在)

【内訳】 全壊 14 件
大規模半壊 162 件
半壊 377 件
一部破損（一部損壊）1,418 件
※借家人及び追加申請を含む

- ・ 被災証明書発行件数：382 件(7 月 1 日現在)

■ 復旧に対する住民説明会の実施

(1) 下水道施設状況について

- ①袖ヶ浦 5 丁目 3 月 26 日（土） 出席者数 約 40 名（町会役員等）
- ②香澄地区 3 月 27 日（日） 出席者数 23 名（町会長、自主防災団体）
- ③袖ヶ浦 6 丁目 3 月 27 日（日） 出席者数 約 600 名（町会住民）
- ④袖ヶ浦 1 丁目 3 月 29 日（火） 出席者数 3 名（町会役員）

(2) 傾斜住宅に住む弊害とその補修方法について

（協力：社団法人 日本建築構造技術者協会（JSCA 千葉））

- ①香澄 2・3・5 及び 6 丁目地区 4 月 16 日（土） 出席者数 約 600 世帯
- ②袖ヶ浦地区 4・5・6 丁目地区 4 月 17 日（日） 出席者数 約 600 世帯

■現地視察の状況

(1) 千葉県坂本副知事視察

日 時：平成 23 年 4 月 11 日（月）午後 3 時 50 分～午後 5 時 15 分

視察場所：菊田川污水放流箇所、香澄の道路陥没箇所、
香澄の液状化被害箇所、袖ヶ浦の液状化被害箇所

(2) 内閣府防災担当東副大臣視察（千葉県から坂本副知事同行）

日 時：平成 23 年 4 月 22 日（金）午後 3 時 10 分～3 時 45 分

視察場所：菊田川の污水放流箇所、香澄道路陥没箇所、香澄の液状化被害箇所

(3) 千葉県議会東日本大震災復旧・復興対策特別委員会視察(15 名)

日 時：平成 23 年 5 月 31 日(火)午後 2 時 55 分～午後 3 時 40 分

視察場所：菊田川污水放流箇所、香澄の道路陥没箇所、香澄の液状化被害箇所

(4) 菅総理大臣、森田千葉県知事、視察

日 時：平成 23 年 6 月 18 日(土)午後 2 時 00 分～2 時 10 分

視察場所：菊田川の簡易処理施設



菅首相、森田県知事の視察

■被災者総合相談案内窓口の開設

- ・ 開設期間：4 月 15 日（金）から 12 月 28 日（水）まで
午前 9 時から午後 5 時まで（平日のみ開設）
※6 月 30 日（木）までの開設を 12 月 28 日（水）までに延長
- ・ 設置場所：市役所第三分室 2 階会議室
- ・ 相談内容：被災者生活再建支援制度他のご案内、義援金・見舞金等の申請受付や
その他ご相談等について各担当窓口を案内。
個別住宅相談の実施（5 月 15 日まで）
- ・ 相談状況：相談 994 件、電話 952 件（6 月 30 日現在）
- ・ 各種制度受付状況：302 件（6 月 30 日現在）



被災者総合相談案内窓口

■全国避難者情報システム受付開始

（避難者の所在地等に係る情報提供の受付）

- ・ 受付開始日：4 月 14 日（木）から
- ・ 受付場所：市役所市民課

■福島県からの避難者の一時避難所の開設

- ・ 受入期間：3 月 25 日（金）～4 月 25 日（月）
- ・ 受入施設：東部体育館内講習室
- ・ 受入人数：0 人

- ・ 受入期間：4 月 26 日（火）～
- ・ 受入施設：習志野市勤労会館
- ・ 受入人数：0 人

■被災者向けの住宅の無償提供について

- ・入居資格：習志野市内に居住し、東日本大震災により住宅に被害を受け、建替え又は改修等のため仮住居が必要な方。
(原則、り災証明書で半壊以上とされた方)
- ・対象住宅：習志野市内にある国の宿舍
- ・受付期間：【一次募集】平成 23 年 4 月 25 日（月）～平成 23 年 5 月 13 日（金）
【二次募集】平成 23 年 6 月 1 日（水）～平成 23 年 6 月 14 日（火）
- ・入居条件：①入居期間
建替え又は改修等に要する期間内で原則 1 年以内
②使用料等
使用料、敷金、礼金は無料、ただし共益費、光熱費、退去時のリフォーム費等は入居者が負担。
③その他
応募多数の場合は、公開抽選にて入居者を決定。
また入居可能日は、平成 23 年 6 月 1 日（水）以降を予定
- ・応募世帯数：5 世帯（平成 23 年 5 月 13 日現在）
- ・受付場所：市役所住宅課

■県外被災者の方々への住宅の無償提供について

- ・入居資格：①岩手県・宮城県・福島県に住居があり、東日本大震災により住居に被害を受け住むところを失った方（原則、所在の市町村の発行する罹災証明書で半壊以上とされた方）
②福島第 1 原発事故に伴う計画的避難区域、緊急時避難準備区域に住居があり、「被災証明書」が受けられる方、または同区域に住居があることが確認できる方。
- ・対象住宅：習志野市内にある国の宿舍（県外被災者向けとして 20 戸確保）
- ・受付期間：平成 23 年 5 月 16 日（月）～平成 23 年 5 月 27 日（金）
- ・入居条件：①入居期間 原則 1 年以内
②使用料等
使用料、敷金、礼金は無料、ただし共益費、光熱費、退去時のリフォーム費等は入居者が負担。
③その他
応募多数の場合は、公開抽選にて入居者を決定。
また入居可能日は、平成 23 年 6 月 7 日（火）以降を予定

応募世帯数：2 世帯（平成 23 年 5 月 17 日現在）

受付場所：市役所住宅課

■寄附金・義援金の受付けについて

(1) 「まちづくり応援基金」

- ・市の「まちづくり応援基金」へ積み立てた後、市内公共施設の復旧に活用
(寄附金受付状況：6 月 28 日現在 44,211,153 円)

(2) 「東日本大震災義援金」

- ・「日本赤十字社」を通して被災地に送付
- ・取扱期間：3 月 14 日（月）～9 月 30 日（金）
(義援金受付状況：6 月 24 日現在 13,320,511 円)
- ・「中央共同募金会」を通して被災地に送付（習志野市社会福祉協議会対応）

(3) 「習志野市災害義援金」

- ・市内被災者を支援したいという市民の声を受けて、義援金を募集
- ・千葉銀行開設口座への振り込みまたは社会福祉課で受付
振込先：千葉銀行 津田沼支店 普通口座 No. 3 7 8 2 3 7 4
口座名義…習志野市災害義援金
- ・千葉銀行、京葉銀行、千葉興業銀行、千葉みらい農業協同組合の本・支店からの
振り込み手数料は無料扱い（ATMは有料）
- ・開設期間：5 月 10 日（火）～12 月末
(義援金受付状況：6 月 27 日現在 3,734,328 円)

■見舞い金等の支給について

(1) 東日本大震災被災見舞金制度について

東日本大震災に伴い住家に被害を受けた市民に対し、習志野市災害見舞金を財源とする見舞金を支給する。

- ・対象者及び条件
 - ①住家に被害を受け、り災証明書にて全壊・半壊と判定された世帯
 - ②住家に一部破損の被害を受け、10 万円以上修繕費がかかった世帯
 - ③住家とは現に居住用に使用している建物。借家・持ち家、戸建て・集合住宅の要件はないが、貸主には支給しない。
- ・支給額

要件	支給額	条件
全 壊	50,000 円	り災証明書にて全壊
大規模半壊及び半壊	30,000 円	り災証明書にて大規模半壊及び半壊
一部破損	10,000 円	10 万円以上の修繕をしたもの

(2) 習志野市災害義援金について

市内の被災者の方に対する「習志野市災害義援金」を受け付けるための口座を開設。被災者への配布方法は、千葉県の配分委員会を参考に、習志野市でも配分委員会を立ち上げる予定。

(3) 千葉県義援金の配分について

日本赤十字社、中央募金会等を通じ寄せられた義援金の第一次配分の申請受付けを被災者総合相談案内窓口で開始。なお、配分額の決定は千葉県災害義援金配分委員会が行なった。

区分	配分単価	対 象	配分申請額
死亡	500 千円(県上乗せ分 150 千円含む)	1 人	500 千円
全壊	500 千円(県上乗せ分 150 千円含む)	7 世帯	3,500 千円
大規模半壊 及び半壊	200 千円(県上乗せ分 20 千円含む)	539 世帯	107,800 千円
計			111,800 千円

※対象者数は、5 月 12 日現在。一次調査による把握数であり、今後の二次調査によって件数が増加した場合は、追加で県に申請する予定

(4) 千葉県災害弔慰金・千葉県災害見舞金について

県から被災者に対し、申請不要で支給する。

り災証明書の発行情報をもとに、対象者名簿は千葉県習志野健康福祉センター宛てに 5 月 19 日に報告済

(申請額)

被災の状況	支給額	対象	支給額
死亡した方	1 人あたり 100 千円	1 人	100 千円
重傷者	1 人あたり 30 千円	—	—
住宅(住家)全壊	1 世帯あたり 100 千円	3 件	300 千円
計		4 件	400 千円

※今後、り災証明書の件数が増えた場合は、その時点で追加申請を行う。

※見舞金の支給については、県が行なう。

■中小企業向け支援について

(1) 中小企業向け罹災証明書の申請及び発行

①罹 災 証 明 書：中小企業者の市内事業所、工場、設備、商品等に被害のあったことを証明するもの

②申請に必要なもの：中小企業資金融資等における罹災申請書、被害個所の写真、被害対象物との関係の分かるもの
(登記簿謄本、賃貸借契約書、車検証等)

(2) 東日本大震災復興緊急保証制度の市町村認定書の申請及び発行

①認 定 書：中小企業者が東日本大震災に起因して、震災以降に売り上げの減少が生じていること又は減少が見込まれることを証明するもの

②申請に必要なもの：認定申請書、法人登記簿謄本（法人のみ、直近 3 カ月以内のもの）、直近の決算書 1 期分（個人事業主は直近の確定申告書 1 期分）、許認可証の写し（必要な業種のみ）、売上比較表、売上比較表の根拠となる資料（試算表等）

(1)・(2) 共通事項

③主 な 用 途：東日本大震災により直接又は間接的な影響を受けた中小企業の皆様に対する特例の融資制度の申請要件を満たすことを証明するもの

④申 請 受 付 時 間：平日 午前 8 時 3 0 分から午後 5 時まで

⑤申 請 受 付 場 所：市役所第三分室 2 階 商工振興課